

ちょっとひと言!!

市民の声



広報委員が市民の皆さんに、行方市に寄せる思いをインタビューしました。



● 私は、この緑豊かな行方が大好きです。しかし、大好きな故郷も日本の各地同様、少子高齢化と共に人口減少が進み過疎化に向かっていることを大変憂えています。小さな市ですが、みんなの知恵があります。財政が乏しくても、夢に向かって進む情熱が残っています。誰かが何かをしてくれないからと言わず、私が出れることをする力もあります。市議会の皆さん、私たちの先頭に立って下さい。みんなが元気な故郷を取り戻しましょう。

(70代女性)

● 私は学生時代北海道に住んでいましたが、長期休講時には毎回帰省をしていました。毎度感じるものが『故郷の味』でし

た。社会人になり数年地元を離れていましたが、家業後継者として戻ってまいりました。私は行方市の住みやすさ、農産物がとても大好きです。まだまだ若い世代の私ですが今後の行方市の為、世代を通じて守るものを守り、育て、支えられる様に日々研鑽を積んで行きたいと思っています。

(20代男性)

● 一年前玉中の野球部が存続の危機にある事を当紙に投稿しました。私は、その後現状を見続けてきました。現在一年生の部員四人で旭中と合同で試合に出ており昨年合同でやっていた北浦中はなんと大野中と一緒に。どうして行方市内の中で出来なかったのか? そんなとき、玉小のグラウンドで野球らしきルールを先生が熱心に教えている光景を目にしうれしくなりました。玉中の野球部を守る為スポーツ少年団関係者や小学校の先生方に頑張ってもらいたいと思っています。

(60代男性)

● 大きな二つの湖に森や川、豊かな自然に囲まれ、その中で自然を通して子ども達がのびのびと成長していける事を幸せに思っています。しかし、少子化が進み近所のお友達と気軽に遊べなかつたり、いざという時の小児救急など医療機関の受け入れ体制やこれからの高齢者・障害があ

る方など生活弱者に対する支援。この豊かな環境を活かしながら、全ての市民が安心して生活できるように街づくりをお願いしたいと思っています。

(40代女性)

● 行方市の小学校は合併により四校になる。

廃校後の更地や校庭跡に、現役時代に寄付や寄贈された立派な記念碑や石像・銅像等が放置されて居る。

それを一ヶ所に集め、先人達の、その時代を語る歴史や記念公園に、又は憩いの場を造成すれば先人達の児童・生徒の人格の成長・将来を願った事を思い出す場所ともなり道徳心の倍増もされると思う。

(80代男性)

● 今秋、大和第三小学校跡地に、なめがたファーマーズヴィレッジがオープンしますが、とても楽しみにしているひとりです。

手づくり体験教室やレストラン、カフェもあると聞いています。

市制施行10周年を迎えましたが、いまひとつ活気にかけていると思います。

多くの市民が親しみやすく集まれる、行方市が活気づくようなテーマパークになるといいなと期待しています。

(50代女性)

編

集

後

記

一年前の広島での土砂災害、また今回の記録的な大雨で死者・行方不明者が出た関東・東北の豪雨被害、改めて従来の防災対策の見直しと行政による適切な情報提供が求められていると思わずにはおれません。また私達市民は住んでいる地元の危険箇所を認識し、災害時に必要な行動が取れるよう事前の心構えが大切になってくると思います。さて、市議会においては、第3回定例会の開催となり、26年度決算審査が執り行われ、決算の認定案9件は慎重なる審査をするため閉会中の継続審査となりました。結果においては次回の定例会において報告とさせていたいただきます。この決算審査が次年度予算編成への指標となれば幸いです。これから季節は秋から冬へと移り変わって寒さも一段と厳しさを増してきます。皆様におかれましては健康に十分留意され人生を謳歌されますことご祈念申し上げます。(高橋正信)

議会だよりの
ご意見・ご感想を
お待ちしております。



広報委員会

委員長	正 利 信
委員	浩 忠 正
委員	子 瀬 橋
委員	土 小 野
委員	高 宮
委員	藤 阿
委員	〃
委員	〃
委員	〃
委員	〃